

平成17年10月27日

筑波大学

## 筑波大学における利益相反マネジメントの実施について

### 1. 概要

近年、産学官連携の重要性が広く認識されるようになり、それに伴い、技術移転の推進や兼業の規制緩和等により民間企業と大学・教職員の関係が深化してきたことにより利益相反の問題もまた注目を集めるようになった。

このたび、筑波大学における産学官連携活動における利益相反の問題に対応するため、利益相反マネジメントを実施する。

### 2. 利益相反マネジメントの目的

産学官連携は、大学が社会からの多様な要請に応じて課題の解決に貢献していくための重要な手段の一つであり、そのため、今後ともその拡充を図っていく必要がある。しかし、他方で、それによってかえって大学に対する社会一般からの信頼を損なうことのないよう、十分に注意しなければならない。

利益相反マネジメントの実施は、職員等の産学官連携活動に係る個人的な利益に関する報告の徴収等を通じて利益相反を防止し、筑波大学が行う産学官連携活動を推進するとともに、筑波大学及び職員等の社会的信用及び名誉を保持することを目的とする。

問合せ先：研究事業部産学連携課

電話：853-2907